

畜舎の火災事故を起こさないために

今秋、県内の畜産関係施設で火災事故が2件発生しています。冬期間は空気が乾燥することに加え、畜舎等において暖房や保温器具等の使用機会が増え、火災事故のリスクが高くなります。

火災事故から家畜、畜舎を守るため、
今一度点検等を行いましょ。

＜火災事故防止のための注意点＞

1. 暖房器具等の使用時の取扱い

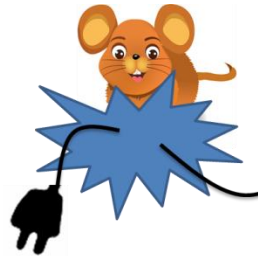


- ✓ 暖房器具等の周囲に燃えやすいものを置かない
 - － 例) 乾草、エサ袋、敷料等
- ✓ 石油ストーブは火をつけたまま給油や移動をしない。

2. 電気設備と配線の点検 ……漏電と過熱

1. 漏電

- ✓ 絶縁の損傷はありませんか。
 - － 電気設備、配線が雨や結露などにより傷んでいませんか。
 - － 扉に挟まれたり、ネズミにかじられたことによる配線の露出はありませんか。
- ✓ ホコリは付着していませんか。
 - － コンセントやプラグ、スイッチの周囲にホコリはたまっていませんか。（日常的に畜舎全体の整理整頓、清掃を行いましょ）
- ✓ 電気保安協会等の定期点検を受けて漏電の有無を確認しましょ。



2. 過熱

- ✓ タコ足配線による容量オーバーはありませんか。
- ✓ プラグはコンセントにしっかり差し込まれ、老朽化していませんか。
- ✓ 開閉器には適正なヒューズが使用されていますか。

3. 畜舎火災の発生を想定した準備をしておきましょ。



- ✓ 消火器具を整備・充実しておきましょ。
- ✓ 消火訓練に取り組みましょ。
- ✓ 家畜の避難方法や避難場所を検討しておきましょ。

飛騨家畜保健衛生所

TEL(0577)33-1111 FAX32-9019

E-mail:c24508@pref.gifu.lg.jp